

インストール・セットアップガイド

1. QGIS のインストール
2. OpenLayers プラグインのインストール
3. QAgriSuppport のインストール
4. データベースの作成

1. QGIS のインストール

QGIS は無償で誰もが自由に使える GIS ソフトです。QAgriSupport の利用には QGIS のインストールが必要となります。

1) QGIS のダウンロード

<http://qgis.org/ja/site/>

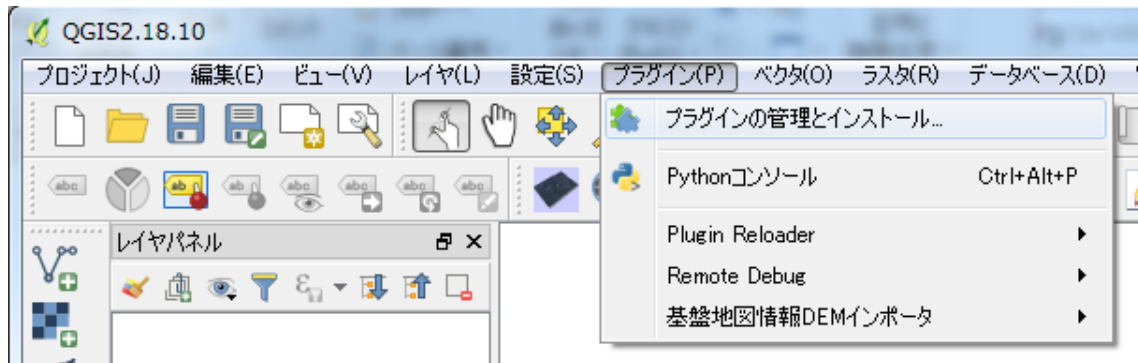
よりインストール用ファイルをダウンロードしてください。いくつかのバージョンがありますが、Latest release を選択してください。64bit 版の Windows を利用している場合は 64bit 版を利用可能ですが、わからない場合は 32bit 版をダウンロードしてください。

2) インストール

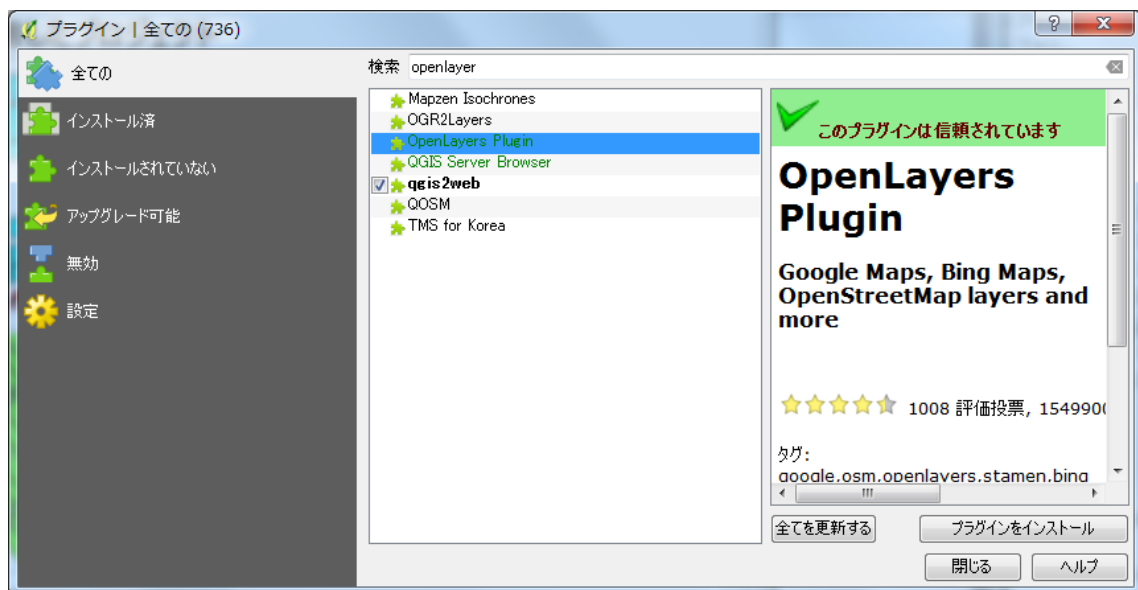
ダウンロードしたセットアップファイルをダブルクリックし、インストールを実行してください。デスクトップ上に QGIS〇.〇〇というフォルダが作成され、その中に幾つかのアイコンが作成されます。この中の QGIS Desktop〇.〇〇.〇というアイコンから QGIS が起動できます。

2. OpenLayers プラグインのインストール

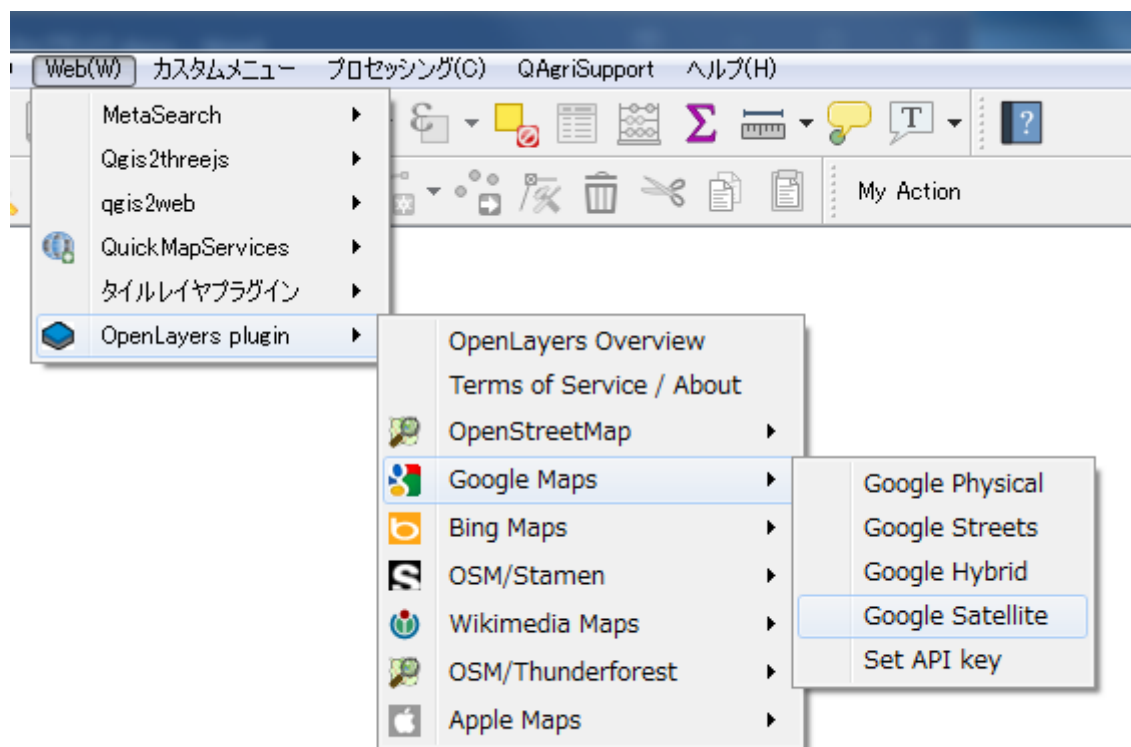
QGIS を起動し、メニューバーのプラグインから、プラグインの管理とインストールを選んでください。



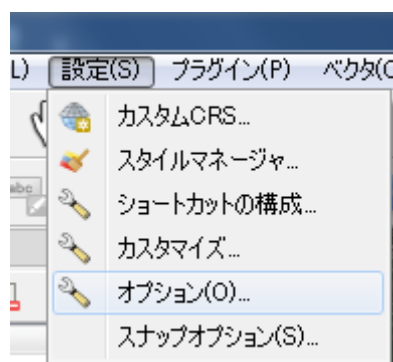
プラグインウィンドウ画面の「全ての」ページで、openlayer を検索ボックスに入力してください。OpenLayersPlugin が表示されるので、「プラグインをインストール」ボタンをクリックしてください。



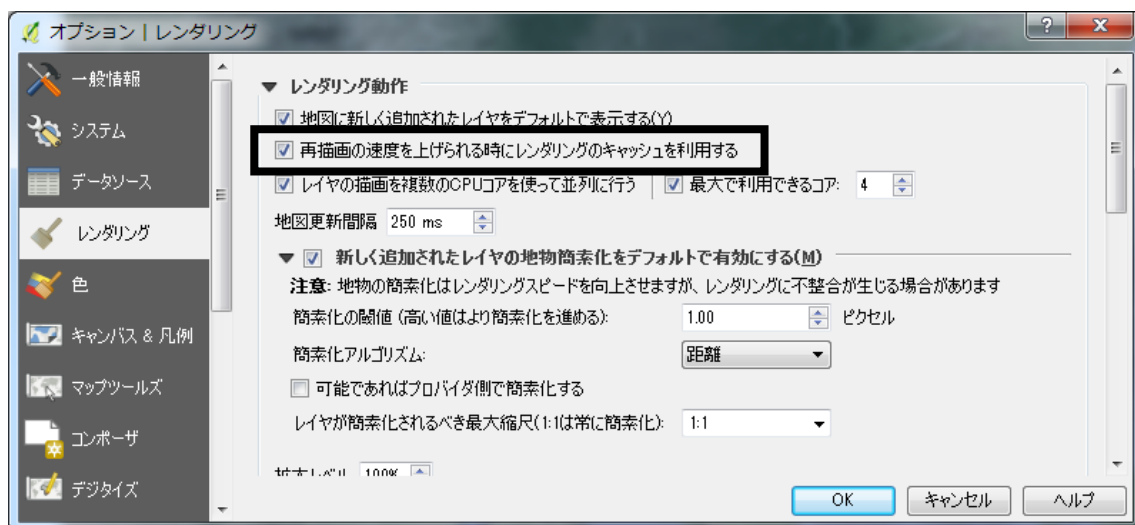
Web メニューに OpenLayersplugin が追加され、各種地図が追加できるようになります。



設定のオプションを開いてください。

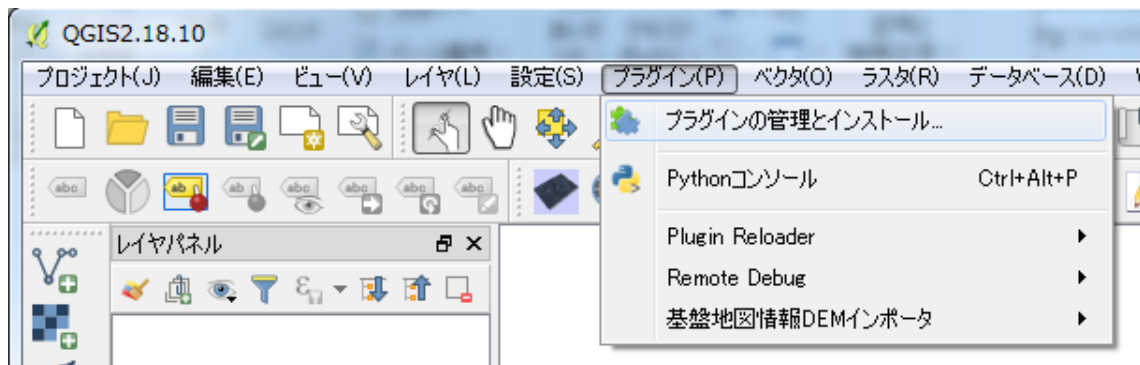


オプションウィンドウのレンダリングページで、「再描画の速度を上げられる時にレンダリングのキャッシュを利用する」にチェックを入れてください。

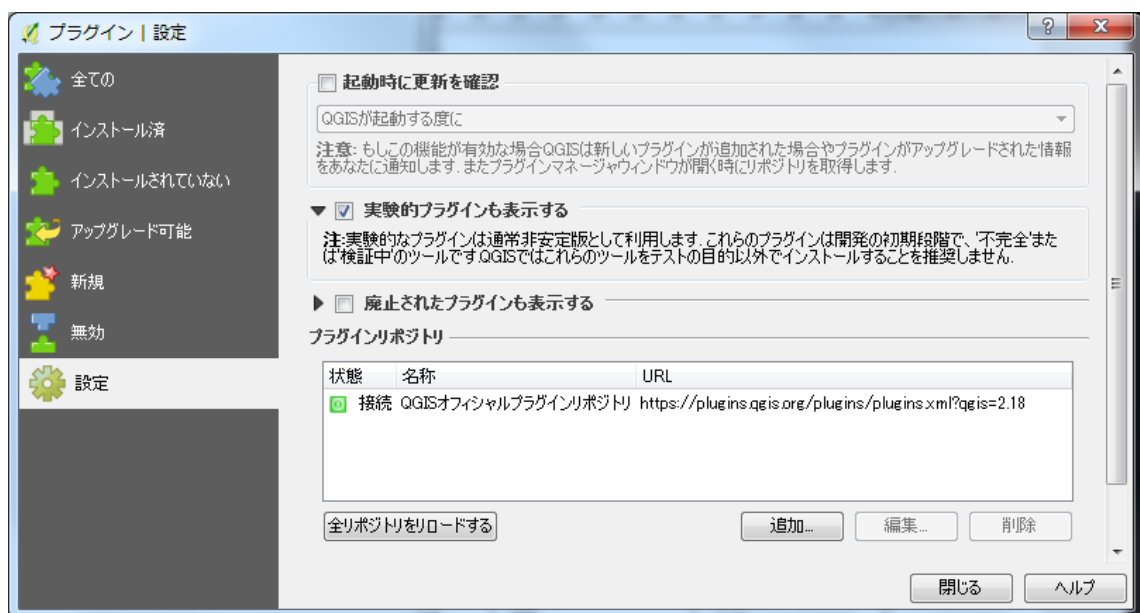


3. QAgirSupport のインストール

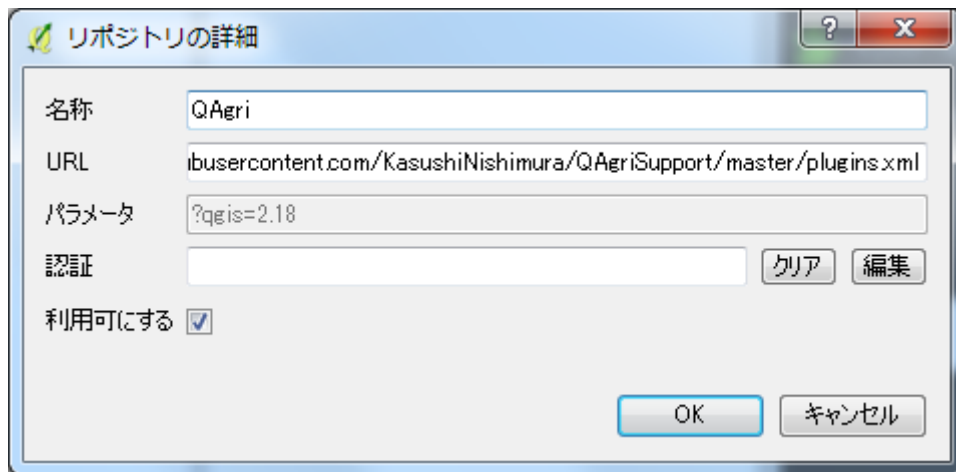
QGIS を起動し、メニューバーのプラグインから、プラグインの管理とインストールを選んでください。



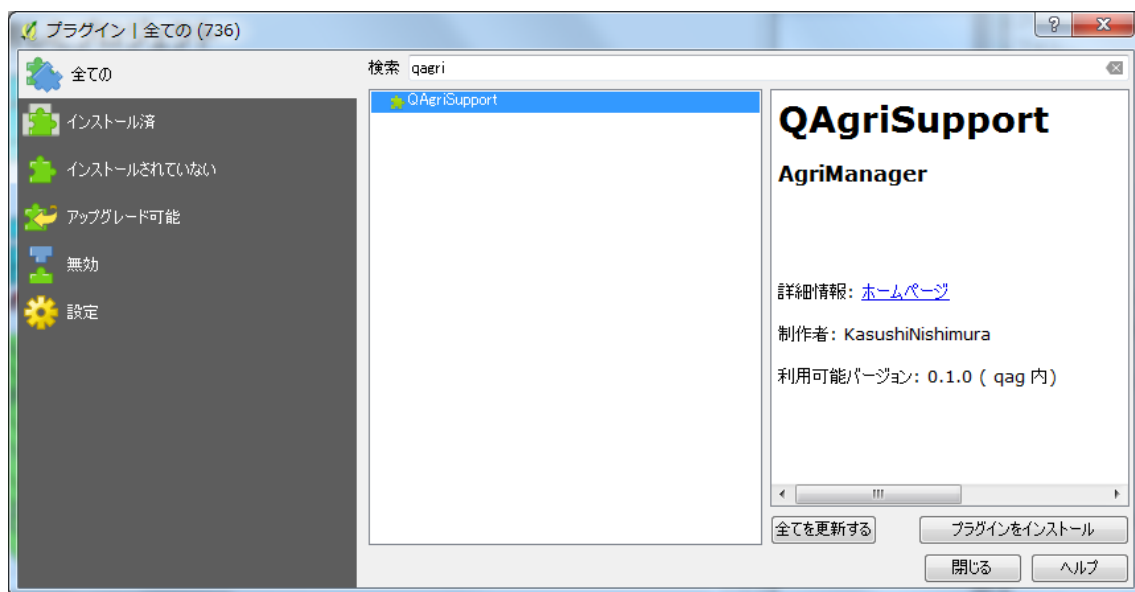
プラグインウィンドウの設定画面で、「実験的プラグインも表示する」にチェックを入れてください。



ウィンドウ下部のプラグインレポジトリの追加ボタンから、
<https://raw.githubusercontent.com/KazushiNishimura/QAgriSupport/master/plugins.xml>
を追加してください。名前は任意です。



次にプラグインウィンドウ画面の「全ての」ページで、QAgriを検索ボックスに入力してください。QAgriSupportが表示されるので、「プラグインをインストール」ボタンをクリックしてください。

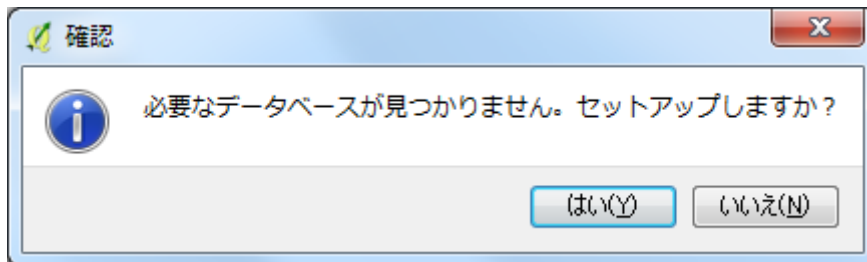


上部メニューバーに QAgriSupport が追加され、生産管理システムの起動メニューが表示されます。



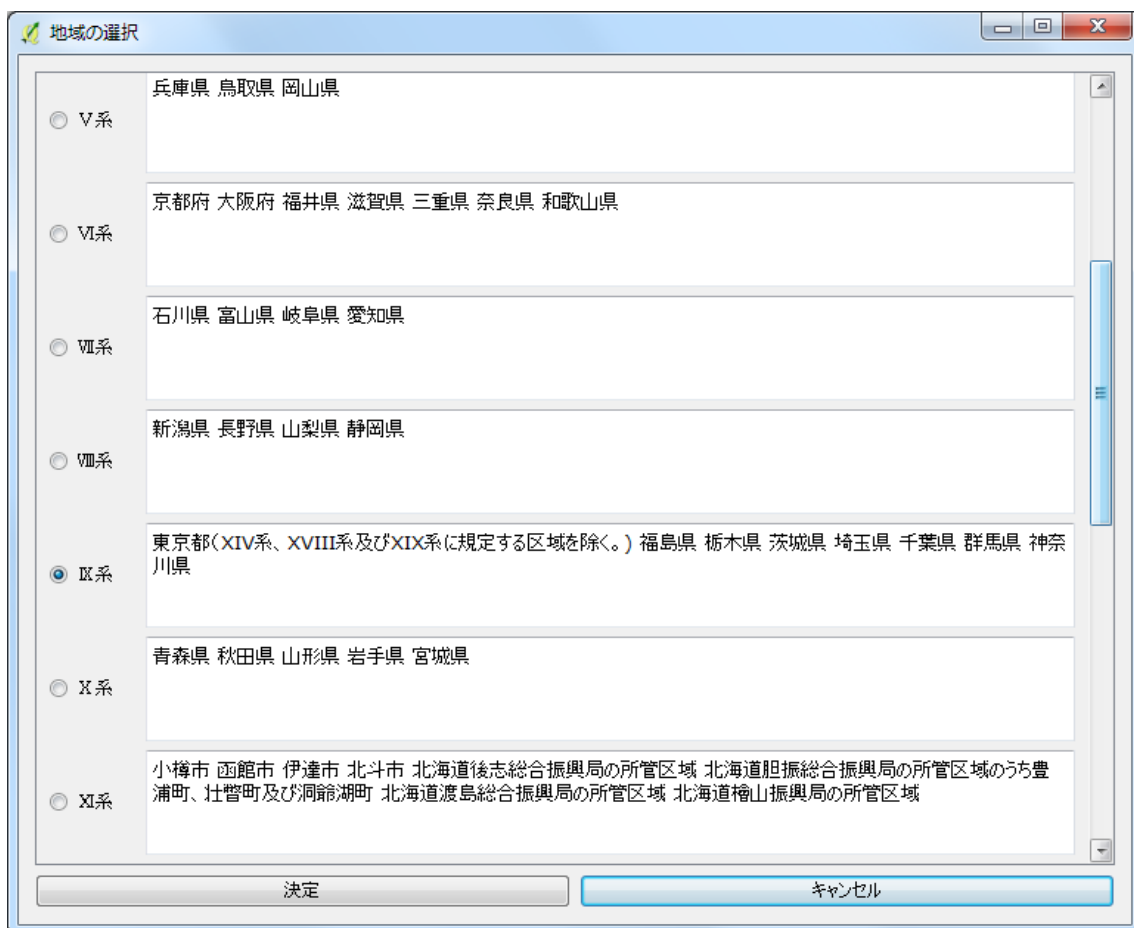
4. データベースの作成

QGIS を起動し、はじめて QAgriSupport から生産管理システムを起動すると、

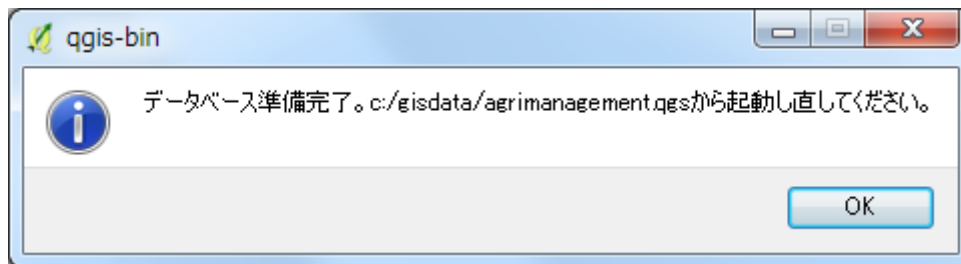


が表示されるので、「はい」をクリックしてください。

次に、地域の選択が表示されるので、対象となる地域を含む系にチェックを入れて、「決定」をクリックしてください。



データベースが作成され、



が表示されるので、「OK」をクリックし、一度 QGIS を終了してください。

C:\gisdata に下記の 4 つのファイルが作成されるので、今後はこのフォルダ内の agrimanagement.qgs からシステムを起動してください。

